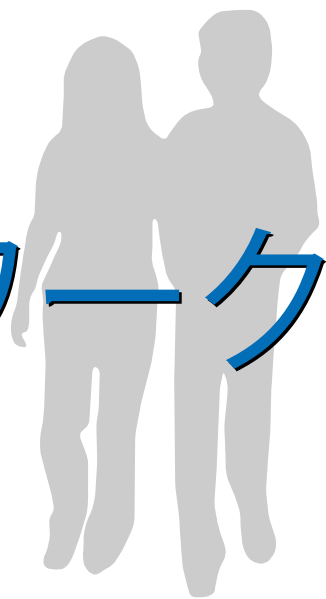


# 小田原駅周辺 歩行者ネットワーク 計画



平成27年3月  
小田原市



## 目次

1. 計画の概要	1
2. 小田原駅周辺の現況の整理	4
2-1 小田原市の概況	4
2-2 拠点施設	9
2-3 道路状況	16
2-4 サイン	20
3. 実態等調査結果	21
3-1 歩行者及び自転車交通量調査	21
3-2 通りの利用実態調査	23
3-3 ヒアリング等調査結果	24
4. 歩行者及び自転車通行者数の将来推計	46
4-1 前提条件	46
4-2 推計の方法	46
5. 整備の基本的な考え方	50
5-1 現況の問題	50
5-2 課題	52
5-3 基本方針	54
5-4 基本施策と施策メニュー	56
5-5 ゾーニング	58
6. 歩行者ネットワーク計画	60
6-1 整備計画の推進方法	60
6-2 歩行者ネットワーク路線	62
6-3 整備計画	64
6-4 連携施策	70
6-5 他地域の整備事例	73
6-6 計画目標	80



# 1. 計画の概要

## (1) 背景と目的

従来の道路の計画・設計は、高度経済成長や車社会の急速な進展で、自動車交通を中心とした考え方のもとで整備されてきました。

しかし、今後は、社会・経済状況も大きく変化する中で子供から高齢者までを含む様々な利用者の通行・アクセス・滞留の機能や、公共空間としての機能など、道路の多様な機能を重視した考え方に転換し、歩行者・自転車の交通機能および空間機能を持つ道路ネットワークを体系的に整備することが必要とされております。

また、少子高齢化の進展や本格的な人口減少社会の到来など、社会経済状況が大きく変化する中で、小田原駅周辺の中心市街地においては、商業の衰退など空洞化が進んでいます。

このような状況の中、平成25年3月に

### 「にぎわいとやすらぎの街なか再生

～訪れたいなるまち(交流人口の増加)・住みたいなるまち(定住人口の増加)の実現～」

を目的とした『都市廊政策基本方針』が定められました。

本計画は、この『都市廊政策基本方針』の3本柱の一つである「もてなしの道路空間づくり」の一環として、来街者、居住者ともに歩きやすく、芸術文化創造センター等の集客施設や商店街等への回遊性、利便性を高める歩行者ネットワーク整備を行うため、計画を策定します。

### 都市廊政策基本方針

「もてなしの道路空間づくり」、「魅力ある商店街づくり」、「住みよい居住空間づくり」の3本の柱を基本方針として設定し、その柱ごとの施策を推進することにより、魅力ある、歩いて楽しい歩行者空間の創造と街なか居住の促進を図り、新たな市街地形成とコミュニティの再生による、安心して暮らしやすい、やすらぎのある街なかの居住環境づくりとあわせ、小田原駅周辺の中心市街地の活性化を目指す。

#### ① 「もてなしの道路空間づくり」

魅力的で安心・安全な街路整備と連続した花と緑あふれる街路の形成により、歩いて楽しい歩行者空間を創造し、回遊性の向上を図る。

また、街づくり基準などの活用により、民間の建築物のセットバックを促し、その空間を歩道と一体的に活用することなどにより、ゆとりある歩行者空間を確保する。

#### ② 「魅力ある商店街づくり」

各個店に特色がある商店街、イベント等による継続的な賑わいを創出し、1階、2階の低層階は、商店やアトリエなどの利用形態を促進する。また、空き店舗対策などによる、新たな商店の誘致や、空地の利活用を行い、魅力があり訪れたいなる商店街づくりを促進する。

商店会ごとの統一性やルール作りなどを担保するために、必要に応じて街づくり基準の策定等の促進を図る。

#### ③ 「住みよい居住空間づくり」

1階、2階の建物利用形態の統一を図り、建築物の中層以上にあたる住居系の外壁の色調をそろえるなどまちなみに配慮する。

共同建替えが連鎖的に波及し、個々の開発が一体的に機能するよう、必要に応じて街づくり基準や地区計画などで構想を担保する。

また、共同建替えに対する補助のあり方やその制度設計も検討する。



## (2) 計画の対象範囲

### 1) 対象範囲

本計画では、図-1の破線の「歩行者回遊ルート計画エリア」の回遊性向上を念頭におき、主として「都市廊政策エリア」や芸術文化創造センターなどの集客施設を中心とした「歩行者空間重点整備区域」の歩行空間整備について検討します。ただし、回遊の目的、施設の集約状況、地形状況を踏まえ、鉄道より南側の範囲（図-1水色着色部分）も検討範囲に加えます。

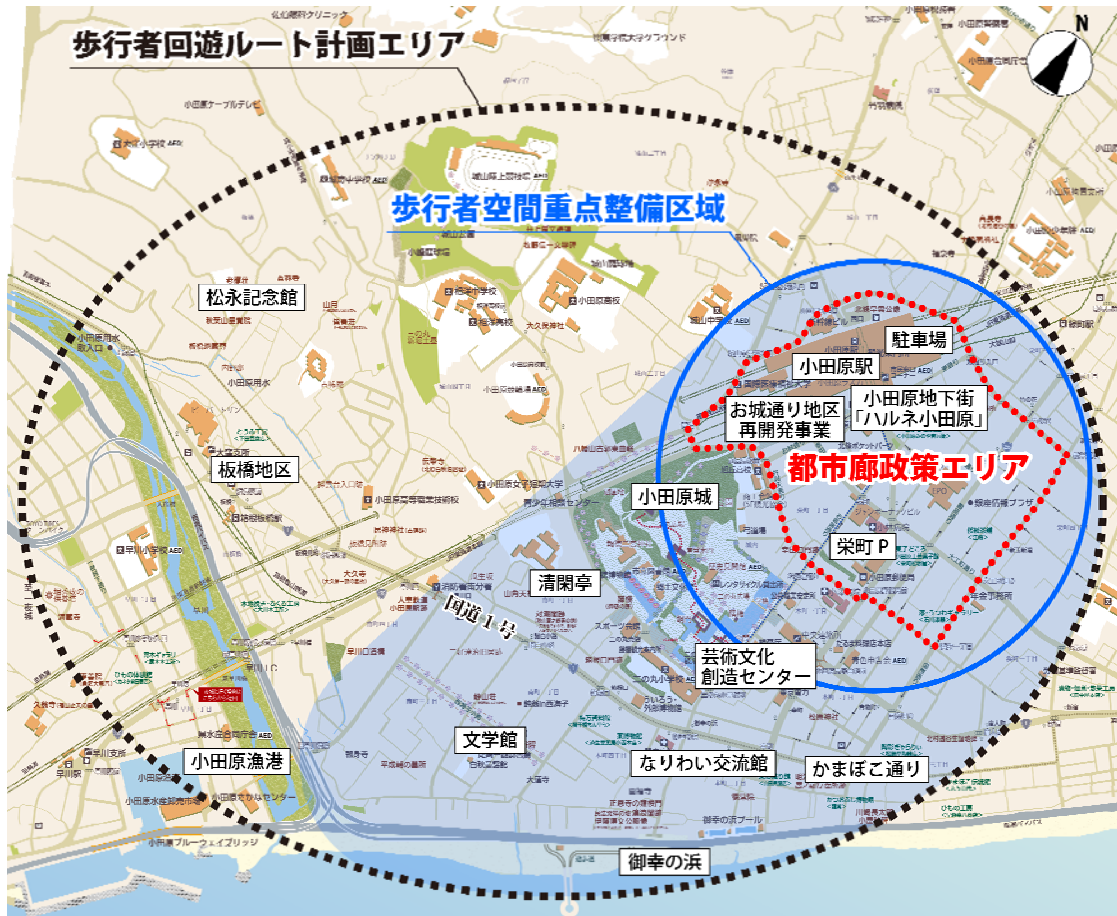


図-1 対象範囲

### 2) 対象とする行動

基本的に小田原駅を起点とした歩行者ネットワークを検討するものとし、地域住民の散策、日常的な買い物、来街者の観光・買い物目的の回遊行動を検討の主対象とします。

### (3) 計画の位置づけ

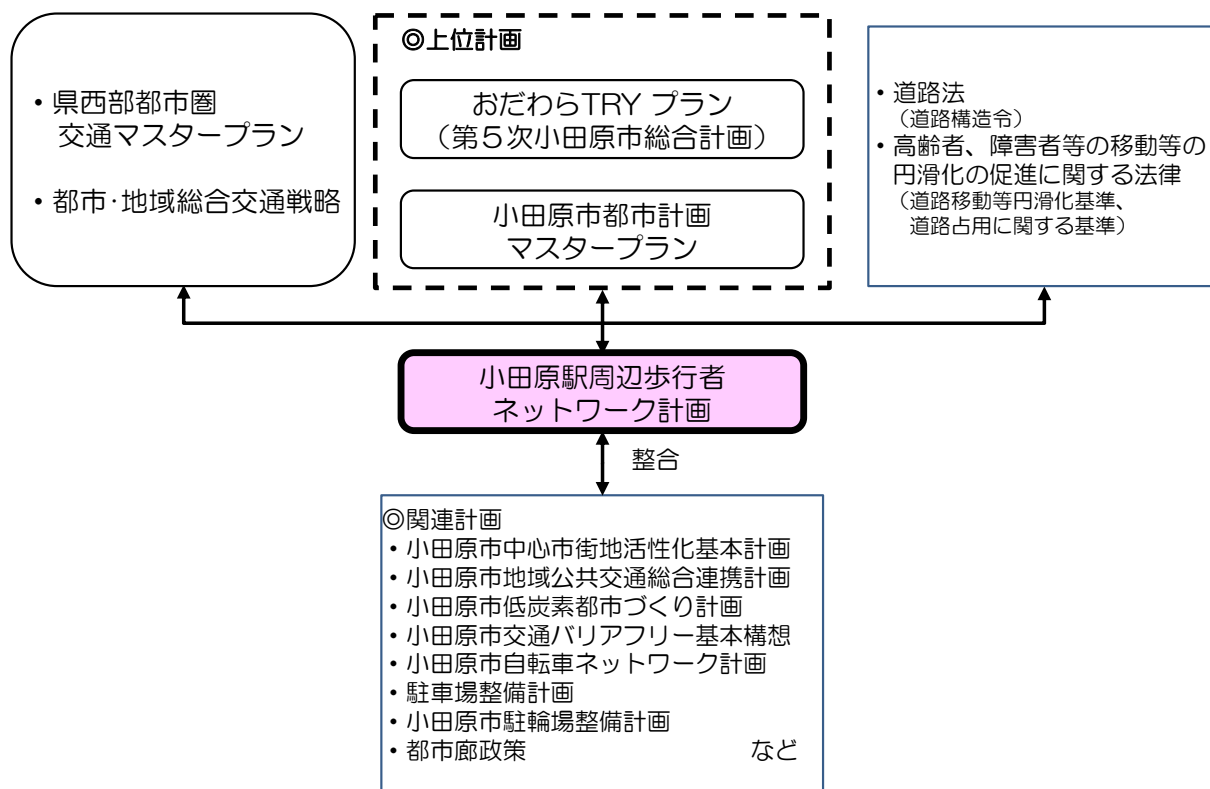


図-2 計画の位置づけ

## 2. 小田原駅周辺の現況の整理

### 2-1 小田原市の概況

#### (1) 人口・世帯

##### 1) 中心市街地における人口と世帯数の推移

- 小田原市の中心市街地の人口は、平成元年から平成24年の24年間で12.0%減少しています。特に、平成16年までは減少の一途をたどっています。
- 一方、小田原市の中心市街地における世帯数は、平成元年から平成24年の24年間で19.8%増加しています。

※中心市街地の範囲を「小田原市中心市街地活性化基本計画」の対象範囲と同一とする

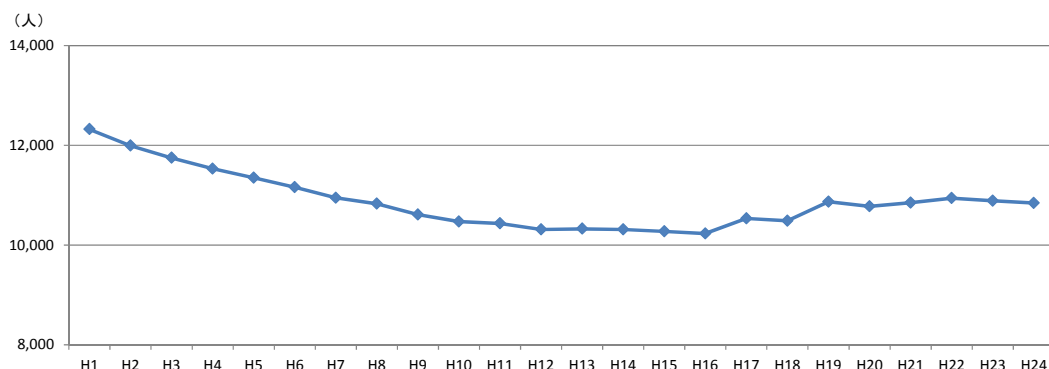


図-3 中心市街地の人口の推移

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
人口	12,321	11,993	11,748	11,529	11,348	11,158	10,945	10,827	10,610	10,469	10,433	10,312
伸び率	1.000	0.973	0.953	0.936	0.921	0.906	0.888	0.879	0.861	0.850	0.847	0.837
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
人口	10,324	10,311	10,273	10,230	10,532	10,486	10,868	10,776	10,848	10,940	10,887	10,841
伸び率	0.838	0.837	0.834	0.830	0.855	0.851	0.882	0.875	0.880	0.888	0.884	0.880

出典：小田原市統計月報（各年10月1日現在）

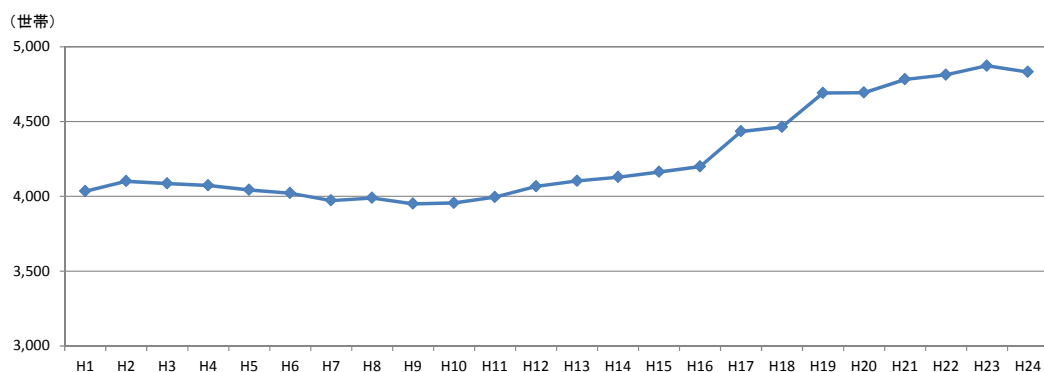


図-4 中心市街地の世帯数の推移

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
世帯数	4,034	4,101	4,086	4,073	4,043	4,021	3,972	3,989	3,950	3,956	3,995	4,067
伸び率	1.000	1.017	1.013	1.010	1.002	0.997	0.985	0.989	0.979	0.981	0.990	1.008
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
世帯数	4,103	4,128	4,163	4,199	4,434	4,464	4,691	4,693	4,782	4,812	4,873	4,831
伸び率	1.017	1.023	1.032	1.041	1.099	1.107	1.163	1.163	1.185	1.193	1.208	1.198

出典：小田原市統計月報（各年10月1日現在）



## 2) 中心市街地の高齢化状況

■ 中心市街地の高齢化状況は、人口の増減傾向とは異なり上昇の傾向にあります。また、市全体の高齢化率よりも高齢化が進んでいたものの、近年はその差が小さくなっています。

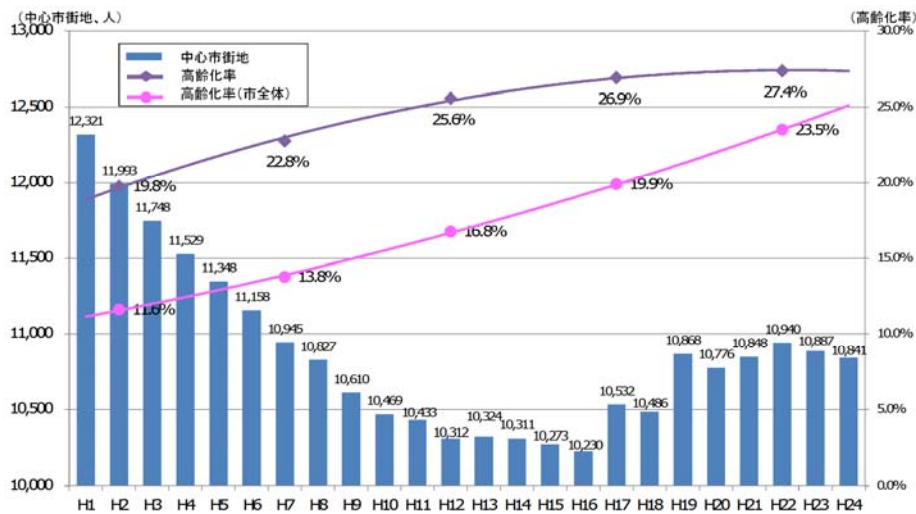


図-5 中心市街地の人口と高齢者割合の推移

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
人口	12,321	11,993	11,748	11,529	11,348	11,158	10,945	10,827	10,610	10,469	10,433	10,312
伸び率	1.000	0.973	0.953	0.936	0.921	0.906	0.888	0.879	0.861	0.850	0.847	0.837
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
人口	10,324	10,311	10,273	10,230	10,532	10,486	10,868	10,776	10,848	10,940	10,887	10,841
伸び率	0.838	0.837	0.834	0.830	0.855	0.851	0.882	0.875	0.880	0.888	0.884	0.880

出典：小田原市中心市街地活性化基本計画（平成 25 年 3 月）

小田原市統計月報（各年 10 月 1 日）

## (2) 商業

### 1) 商店数

■ 中心市街地の商店数は、平成 3 年から平成 19 年までの間に△24.1%と大幅に減少しています。

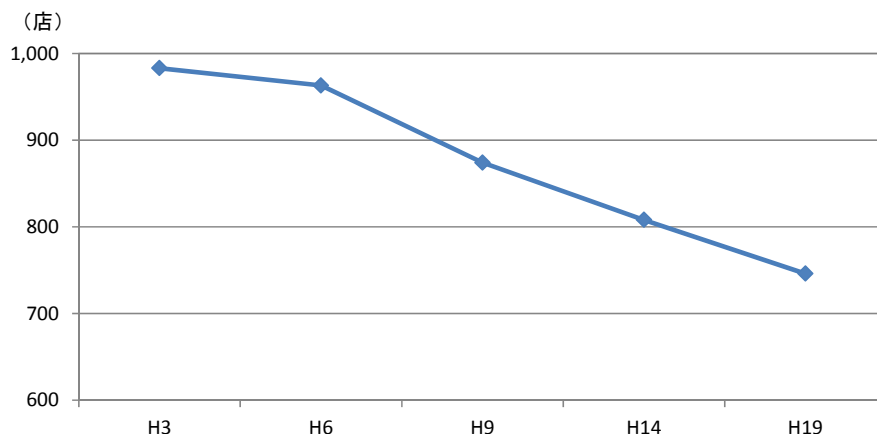


図-6 中心市街地の商店数の推移

	H3	H6	H9	H14	H19
商店数	983	963	874	808	746
伸び率	1.00	0.98	0.89	0.82	0.76

出典：小田原市統計要覧（商業統計調査）

## 2) 商業床面積（小売業のみ）

■ 中心市街地の商業床面積は、平成 3 年から平成 19 年までの間に△31.7%と大幅に減少しています。

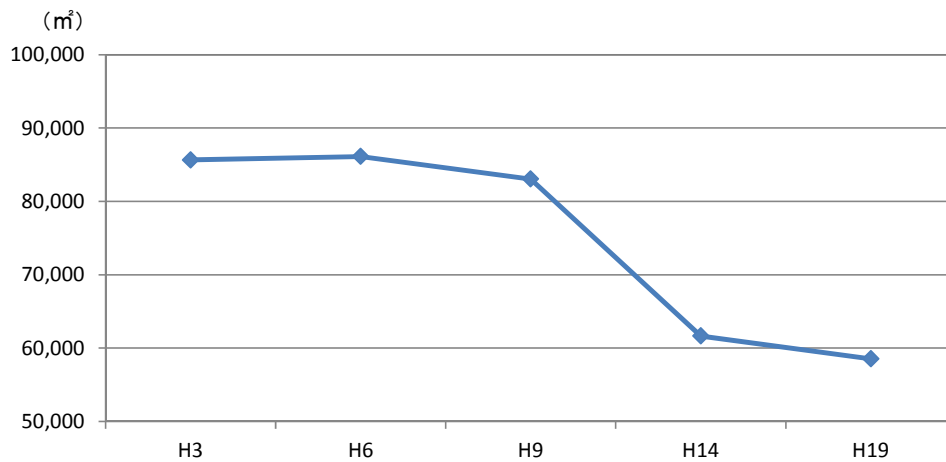


図-7 中心市街地の商業床面積の推移

	H3	H6	H9	H14	H19
売場面積	85,656	86,120	83,049	61,651	58,544
伸び率	1.00	1.01	0.97	0.72	0.68

出典：小田原市統計要覧（商業統計調査）

## 3) 年間商品販売額

■ 中心市街地の年間商品販売額は、平成 3 年から平成 19 年までの間に、△55.4%と大幅に減少しています。

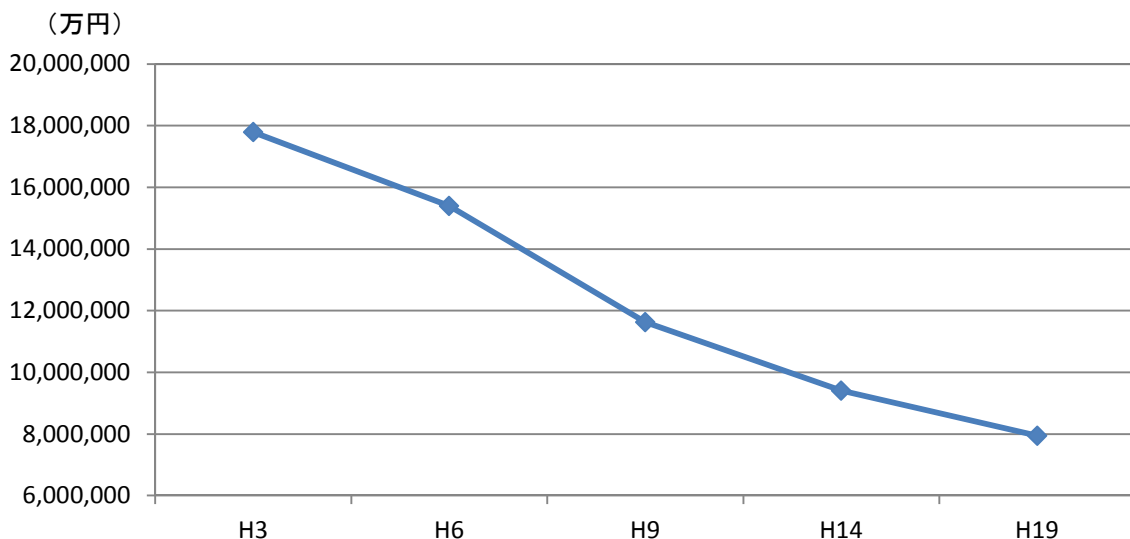


図-8 中心市街地の年間商品販売額の推移

	H3	H6	H9	H14	H19
年間商品販売額	17,789,029	15,394,456	11,624,249	9,406,594	7,938,601
伸び率	1.00	0.87	0.65	0.53	0.45

出典：小田原市統計要覧（商業統計調査）

### (3) 観光

#### 1) 観光客数の推移

■小田原市を訪れる観光客数の推移をみると、平成23年に東日本大震災後の計画停電や交通機関の運休・減便等の影響で観光客数が落ち込みましたが、その後回復傾向にあります。

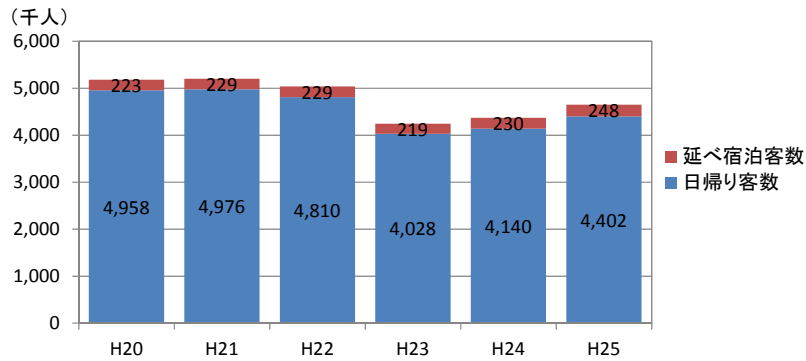


図-9 観光客数の推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
日帰り客数	4,958	4,976	4,810	4,028	4,140	4,402
伸び率	1.000	1.004	0.970	0.812	0.835	0.888
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
延べ宿泊客数	223	229	229	219	230	248
伸び率	1.000	1.027	1.027	0.982	1.031	1.112

出典：神奈川県入込観光客調査

#### 2) 天守閣入場者数の推移

■平成17年から平成24年間の小田原城天守閣入場者数は、+40.6%と大幅に増加しています。

■入場者数が45万人を超えるのは平成5年以来19年ぶりであり、「安・近・短」のレジャー志向、歴史・お城ブーム、テレビ・雑誌等のPR効果等の影響と考えられます。

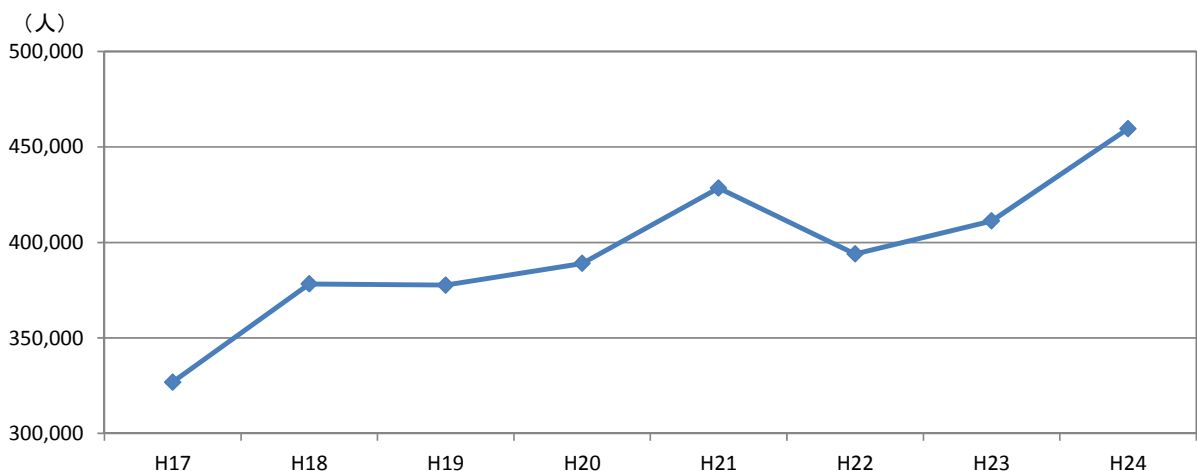


図-10 天守閣入場者数の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
天守閣入場者数	326,871	378,261	377,682	388,971	428,429	393,995	411,240	459,548
伸び率	1.00	1.16	1.16	1.19	1.31	1.21	1.26	1.41

出典：小田原市統計要覧（観光課資料）

#### (4) 小田原市発集トリップ数（徒歩）の推移

■小田原市発集トリップ数は、昭和 63 年から平成 20 年の間に-27%と著しく減少しています。

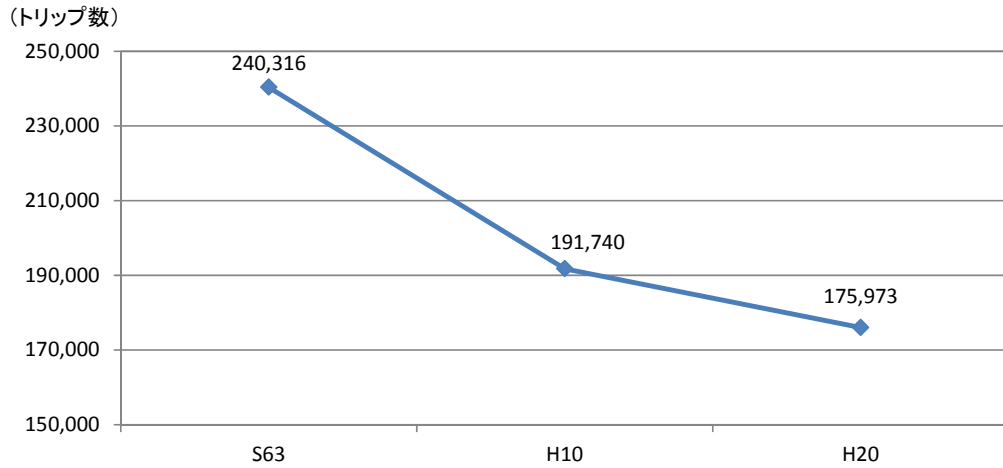


図-11 小田原市発集トリップ数（徒歩）の推移

	S63	H10	H20
小田原市発集トリップ数(徒歩)	240,316	191,740	175,973
伸び率	1.00	0.80	0.73

出典：東京都市圏パーソントリップ調査



## 2-2 拠点施設

### (1) 歩行者の発集施設

- 小田原の主要な観光施設である小田原城をはじめ、街かど博物館の塩から伝統館、<sup>わがみちや</sup>倭紙茶舗等は交通拠点である小田原駅から約 500m（徒歩 5 分程度）の範囲に入っており、駅を起点とした回遊行動の利便性が高いと言えます。
- 駅周辺の商店街には、大型商業施設やスーパー等が集まっており、来街者、居住者で賑わっています。
- 国道 1 号の南側、国道 255 号の東側には、小田原文学館やかまぼこ伝統館、銀座通りや国際通りの商店街などが立地しているものの、駅からの距離があることや、交通量の多い国道を横断する必要があること、まちの連続性が途切れていることで、回遊行動につながりにくいのが実情です。
- 対象範囲内に街かど博物館が点在していますが、該当施設である表示がわかりにくい施設もあります。

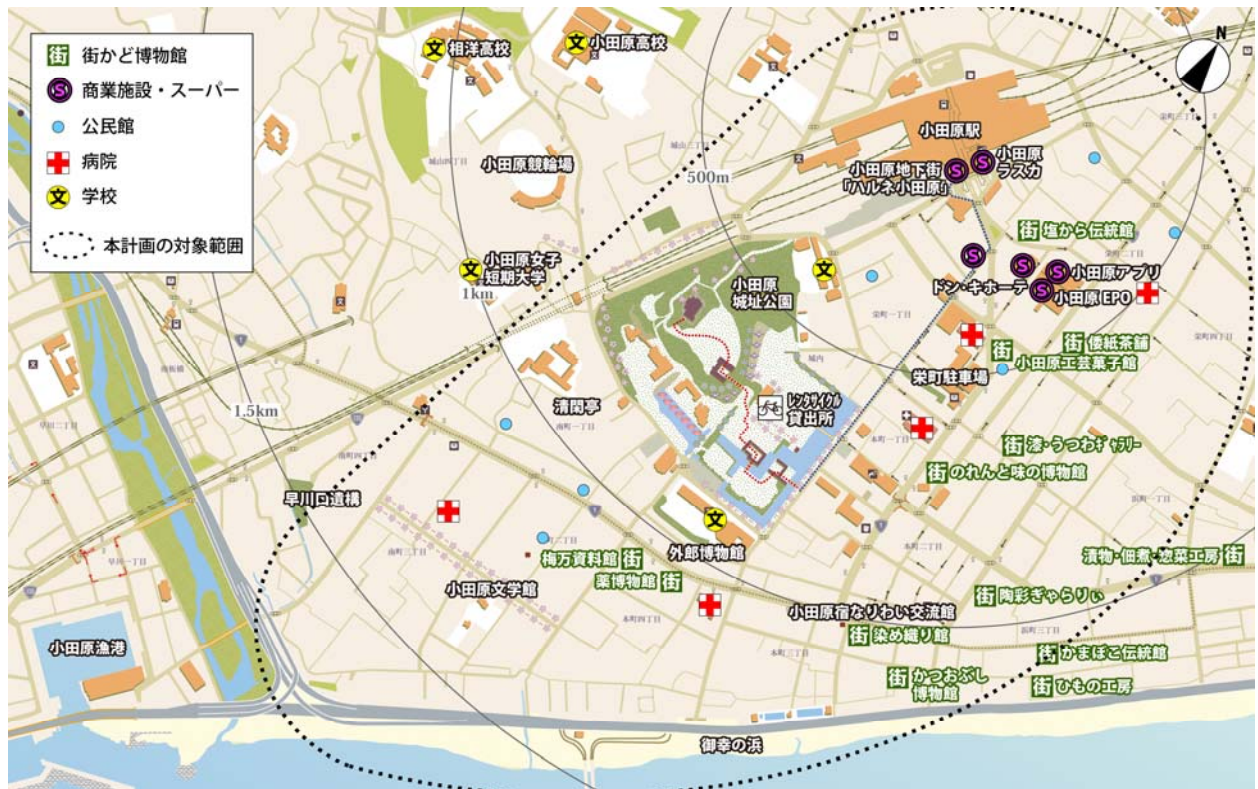


図-12 拠点施設の分布状況



表-1 主な観光・商業施設の概要

施設名称	施設概要	主体
小田原駅	JR東海道本線、JR東海道新幹線、小田急小田原線、箱根登山鉄道、伊豆箱根鉄道大雄山線が乗り入れていて、市内には18の鉄道駅があり、交通の利便性に優れている。	JR東日本 JR東海 小田急電鉄 箱根登山鉄道 伊豆箱根鉄道
交通拠点	<b>料 金</b> 20分100円 最大料金1,000円(3時間超～24時間まで) <b>営業時間</b> 午前5時から午前0時(年中無休) <b>収容台数</b> 460台 ※市内の提携店利用により、無料駐車券配布	【運営管理】 財団法人 小田原市公益事業協会
レンタサイクル(ぐるりん小田原)	<b>貸出場所</b> 小田原城歴史見聞館(小田原城址公園内) <b>利用料金</b> 1人1回 300円 <b>利用時間</b> 9:00～16:30(貸出しは15:30まで) <b>自転車台数</b> 20台(24型～27型、子供用自転車あり) <b>休業日</b> 12/29～1/1(年末年始)、5/3(北條五代祭り) ※他、雨天等の場合休業。 <b>保証金</b> 1,000円(自転車返却時に全額返金)	【実施主体】 小田原市経済部 観光課 特定非営利活動法人 小田原ガイド協会 【実施協力】 神奈川県自転車商協同組合 小田原支部
商業施設	<b>小田原アブリ</b> <b>開店時間</b> 10:00 <b>閉店時間</b> 20:00 <b>屋上駐車場</b> 60台 <b>主な店舗</b> bond family、TOWER RECORDS、DUPA 他 <b>小田原EPO</b> <b>開店時間</b> 10:00 <b>閉店時間</b> 20:00 <b>駐車場</b> 100台 <b>主な店舗</b> 西友、西松屋、ユザワヤ 他 <b>ドン・キホーテ小田原店</b> <b>開店時間</b> 9:00 <b>閉店時間</b> 2:00 <b>テナント</b> アンジュブラン(エステサロン)、美容室イワサキ <b>ラスカ小田原</b> 【ショッピング】 <b>開店時間</b> 10:00 <b>閉店時間</b> 20:30 【レストラン】 <b>開店時間</b> 11:00 <b>閉店時間</b> 22:00 <b>主なサービス</b> ユメサロン、冷蔵ロッカー、マーマイド・ボセイドンスタッフによる巡回清掃 <b>小田原地下街「ハルネ小田原」</b> <b>開店時間/閉店時間</b> ショッピング 10:00/20:00 レストラン 11:00/22:00 <b>店舗数</b> 24店舗 <b>主な公共・公益施設</b> 街かど案内所～小田原日和～、ハルネ広場、ハルネギャラリー	
観光施設・文化施設	<b>小田原城址公園</b> 現在の小田原城跡は、本丸・二の丸の大部分と総構の一部が国の史跡に指定されている。また、本丸を中心に「城址公園」として整備され、昭和35年(1960)に天守閣が復興、次いで昭和46年(1971)には常盤木門、平成9年(1997)には銅門、平成21年(2009)には馬出門が復元された。さらに小田原市では、貴重な文化的遺産である小田原城跡をより一層親しんでいただくとともに、長く後世に伝えていくことを目的として、小田原市文化財課にて史跡整備に取り組んでいる。 ※日本の歴史公園100選(H18.10認定)	【運営管理】 小田原市経済部 観光課
	<b>小田原漁港</b> アジをはじめとする相模湾の新鮮な魚類が毎日水揚げされ、神奈川県西部沿岸漁業の拠点となっている。周辺には鮮度抜群の魚が食べられる飲食店なども多数あり人気。	【漁港管理者】 神奈川県西部漁港事務所 【市場管理者】 小田原市経済部 水産海浜課
	<b>小田原文学館</b> 日本近代文学の祖といわれる北村透谷、文化勲章を受賞した尾崎一雄や川崎長太郎ら私小説家、民衆派の代表的詩人・福田正夫をはじめとする小田原出身の文学者のほか、谷崎潤一郎、三好達治、北條秀司、長谷川如是閑ら小田原に在住して執筆活動を行った小田原ゆかりの文学者の資料を展示。 ※登録有形文化財(H12.9.26登録)	【運営管理】 小田原市経済部 観光課
	<b>清閑亭</b> 黒田長成(元貴族院副議長)の別荘として、明治末期から大正初期に建てられた。雁行状平面で数寄屋風の丁寧なつくりが特徴。材質及び技法に優れている純和風建築であり、歴史的文化的価値が認められることから、登録有形文化財に登録された。 ※登録有形文化財(H17.7.12登録) ※講演会・写真展・まちあるき等、各種イベントも開催	【管理者】 小田原市文化部 文化政策課
	<b>早川口遺構</b> 二重外張と呼ばれる土塁と堀を二重に配した構造となっていることから、この付近に出入口である虎口があったと考えられている。この遺構は、小田原城総構の南西に位置し、低地部で見ることのできる数少ない土塁跡のひとつ。 ※国指定史跡	【管理者】 小田原市文化部 文化財課
	<b>小田原市民会館</b> <b>主な施設内容</b> 大ホール、小ホール、会議室(7室)、展示室、多目的室(2室)(有料) <b>駐車場</b> なし ※4階みんなのトイレにベビーシート、2・3・5・6階トイレにベビーキープあり	【管理者】 小田原市経済部 観光課
	<b>御幸の浜</b> 明治6年(1873)、明治天皇と皇后がおそろいで、当浜において、漁夫の地引網をご覧になり、以来、「御幸の浜」と呼ばれるようになった。御幸の浜海岸は、景色が良く、伊豆半島や三浦・房総半島も見渡せ、海辺の散策などが楽しめる。夏には海水浴も楽しみ、元旦(1月1日)には、初日の出にあわせて元旦初泳ぎも行われる。	【海岸管理者】 神奈川県西部漁港事務所
	<b>小田原宿なりわい交流館</b> <b>観光案内・お休み処</b> 無料のお休み処。お茶も無料で提供。街かど博物館をはじめとする市内の名所旧跡等のパンフレットの配布や案内を実施。 <b>イベントスペース</b> 地場産業の情報発信や生涯学習等、各種イベントの開催会場。多くの市民や観光客が交流する場として利用が可能。	【管理者】 小田原市経済部 産業政策課
	<b>外部博物館</b> 明治18年築の蔵を利用した小さな博物館を平成17年夏に開設。初祖 陳延祐より600余年、二十四代にわたり代々伝統を守り続ける外郎家は、五代目 定治が当地に移住してから500年が経過。独特の店構えの理由、「ういろう」の名の由来、お菓子と菓の起源、歌舞伎十八番「外郎売」との関係などを、小田原で最も古い商家ゆかりの品々をご賞観頂きながら紹介。 ※入館無料	(株)ういろう
	<b>かまぼこ伝統館</b> 小田原蒲鉾に親しんでいただくため、丸う田代に保管してあった昔の器具や資料を展示。また、ビデオで手作りの様子も視聴可能。 ※試食コーナーあり	丸う田代
	<b>ひもの工房</b> 平日(月・金)の午前中に、ひもの製造体験イベントを実施。一人ひとりに職人が付き、包丁の握り方から教示。	早瀬幸八商店
	<b>かつおぶし博物館</b> 海から揚がったカツオが、かつお節になるまでの行程を店内で紹介。 <b>染め織り館</b> 店内では、絹織物をつくる工程が詳しく解説されている他、染物の型紙なども展示。 <b>菓子どころ</b> 城下町小田原を代表する菓子職人が、四季折々の歳時に合わせて作った菓子を展示販売。 <b>小田原工芸菓子館</b> 明治48種類もの四季の上生菓子や、懐かしい落雁の手彫の木型等も展示。 <b>陶彩ぎやらい</b> 明治から続く陶器店として、歴代店主が収集してきた器コレクションの一部や、昔の青物町(旧町名)の写真などを展示。また、全国から特別に取り寄せた美しい陶磁器やガラス工芸品等が鑑賞できる。	籠常商店 山田呉服店 栄町松坂屋
	<b>薬博物館</b> 薬研や秤、明治・大正時代のお店の写真などを展示。建物は、明治時代に関東大震災で倒壊したものを大正年間に戻元。石造りの薬種蔵を内包した純和風の木造建築である。	済生堂薬局小西本店
	<b>梅万資料館</b> 古い梅干や色々な梅干の種を展示する他、珍しい食材(梅干の黒焼きや烏梅)を展示・販売。また、美味しい自家製梅干の漬け方も教示。	欄干橋ちん里う
	<b>漆・うつつわギャラリー</b> 室町時代より続く小田原漆器の製造・販売店。伝統を受け継ぐ漆器や新手法の漆器、加えて仲間の陶芸家達の器も並び、楽しめる空間になっている。大久保藩の槍塗師だった名残りの槍や道具類・写真等も展示。 ※昭和59年「伝統的工芸品」として国の認定を受ける	石川漆器
	<b>俵紙茶舗</b> 建物は昭和初期に建築され、小田原の伝統的な商家の歴史を感じる出桁造りが特徴。店内には厳選された高級茶や、見るだけでも楽しい全国の和紙を数多く取り揃えている。また、江戸時代末期の財産台帳や建物完成時に作った皮製の法被などの歴史を物語る展示コーナーもある。 ※お茶の試飲とともにくつろげるスペースあり	俵紙茶舗 江島
	<b>塩から伝統館</b> 「東海道の塩から」と「小田原みのや吉兵衛の歩み」を、江戸時代より伝わる看板・写真・地図・文献を通して紹介している。 ※1階にて、お茶を飲みながらゆっくり試食できるスペースあり	小田原みのや吉兵衛
	<b>漬物・佃煮・惣菜工房</b> 漬物、梅干、ワサビ漬、イカの塩辛や、煮豆と昆布の佃煮などは、小田原の有名な郷土料理である。田中屋では、オリジナルにこだわった商品を製造・販売。 ※店内にて、季節の各種料理を調理する事も可能。	田中屋本店
	<b>のれんと味の博物館</b> 松、けやき、ひのき等を用いた唐破風人母屋造りの建物は国登録有形文化財に指定されており、施設内には母屋の昔の写真や、当時のぶり漁を展示している。	だるま料理店

## (2) 休憩施設、街路樹

- 錦通りと中央通りの交差点には北條ポケットパークが、国道1号にはなりわい交流館といった休憩施設が立地しています。銀座通り商店街の中には、暫定的に空き地を活用したポケットパークもあります。
- 観光施設内に施設利用者以外でも利用可能なベンチやトイレはあるものの、外から分かりづらい施設もあります。
- 国道1号、お堀端通り等には高木が植樹されており、緑陰をつくっています。また、銀座通り、国際通り等には一部アーケードが設置されており、雨や日差しから歩行者を守っています。しかし、アーケードは老朽化しており、さらに、空き店舗も数件あるため、賑わいが途切れている通りもあります。



図-13 休憩施設、街路樹、アーケードの配置





図-14 北條ポケットパーク



図-15 なりわい交流館



図-16 銀座通りの空き地活用のポケットパーク



図-17 お堀端通りのベンチ



図-18 お堀端通りの街路樹



図-19 国際通りのアーケード



### (3) 交通拠点、公共交通

- 小田原駅は、JR（在来線、新幹線）、小田急線、箱根登山鉄道、伊豆箱根鉄道大雄山線が乗り入れる交通結節点となっており、広域からの交通利便性が高いと言えます。
- 一方、駅東口のバス路線と運行状況をみると、系統は多いもののいずれも便数が極めて少ないのが実情です。また、観光回遊バスを運行しているものの、春と秋の観光シーズンの土日祝日に期間限定となっています。
- 小田原城址公園内においてレンタサイクル事業を実施しておりますが、他の地域に貸出所がないため、来訪者の移動・利用ニーズを充足していない可能性があります。

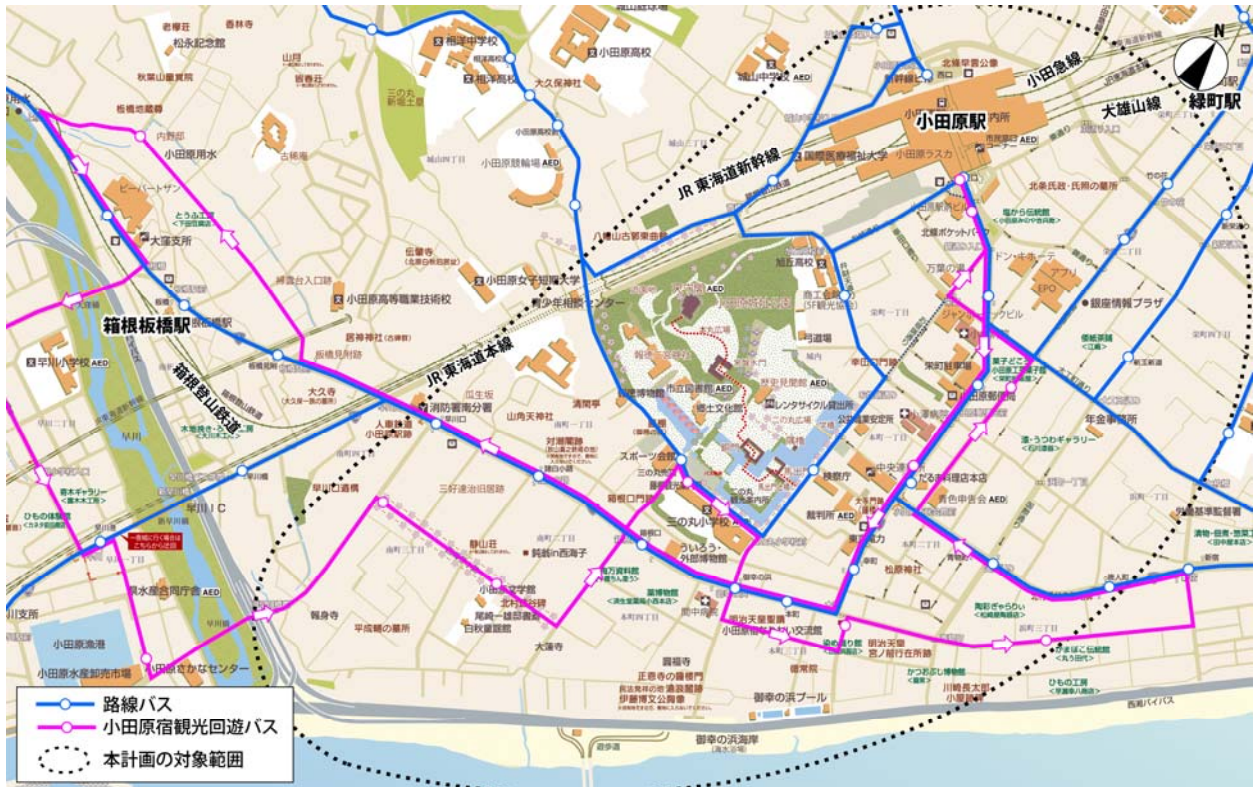


図-20 公共交通の路線

表-2 小田原宿観光回遊バスの運行状況（季節限定）

	秋（平成25年、26年）	春（平成26年）
運行期間	(H25) ・10月5日（土）～11月24日（日） ※毎週土・日・祝運行 (H26) ・10月4日（土）～11月24日（月） ※毎週土・日・祝運行	3月27日（木）～3月31日（月） ※毎日運行 4月5日（土）～5月6日（火） ※毎週土・日・祝運行
実施区間	(H25) ・小田原駅東口～小田原駅前商店街 (H26) ・小田原駅東口発着	小田原駅東口～小田原駅前商店街
運行回数	(H25) ・1日12便 (H26) ・1日10便	1日12便
料金	(H25) ・資料代として200円（小学生100円） ※1日乗り降り自由 (H26) ・特製バッジ代として500円 ※1シーズン乗り降り自由	資料代として200円（小学生100円） ※1日乗り降り自由

表-3 小田原市内を走る路線バスの運行状況

バス会社	起点	行先	経由	日全体の 運行本数 (平日)	日全体の 運行本数 (土曜日)	日全体の 運行本数 (日・祝日)	その他
箱根登山バス	小田原駅東口	城東車庫前	芦子橋	49	43	43	
		城東車庫前	フィルム小田原・ 井細田中央	1	0	0	平日の7時台に1本
		カネボウ	芦子橋	2	0	0	平日の7時台と8時台に1本ずつ カネボウ休業日は運休
		箱根町	小涌園	34	32	32	
		上畑宿	箱根湯本駅	1	1	1	平日・土日祝とも、6時台に1本
		桃源台	仙石	37	34	34	
		桃源台 (仙石案内所止まり)	仙石	1	2	2	平日・土日祝とも、21時台に1本
		板橋	仙石	3	0	0	平日の10・12・13時台に1本ずつ
		湖尻	桃源台	3	2	2	平日の6時台に3本、 土日祝の6時台に2本
		国府津駅	山王	82	60	60	
		国府津駅 (城東車庫ゆき)	山王	1	0	0	平日の22時台に1本
		ダイナシティ	鴨宮駅	7	7	7	
		ダイナシティ	コロナワールド	1	1	1	
		ダイナシティ	酒匂中学	3	3	3	
		湯河原駅	旧真鶴道路	1	0	0	平日の7時台に1本
		湯河原駅 (真鶴駅止まり)	旧真鶴道路	1	1	0	平日の10時台に1本、 土曜日の8時台に1本
		石名坂	根府川駅	9	0	0	土日祝は運休
		栢山駅	フィルム小田原	7	6	6	
		栢山駅 (飯泉循環小田原駅ゆき)	フィルム小田原	0	1	0	土曜日の7時台に1本
		関本	フィルム小田原	1	0	0	土日祝は運休
		関本	蛍田駅・富水	1	0	0	平日の15時台に1本
いこいの森	めがね橋	1	0	0	土日祝は運休		
神奈川中央交通	小田原駅東口	平塚駅北口	国府津駅・二宮駅	0	0	1	【平45】 日祝の7時台に1本
伊豆箱根バス	小田原駅東口	箱根園	大涌谷	13	13	13	
		箱根園	大涌谷、 ザ・プリンス箱根	6	6	6	
		箱根園	-	1	1	1	平日・土日祝とも、7時台に1本
		箱根園(期間限定)	-	1	1	1	平日・土日祝とも、16時台に1本 11/16-3/15の間運行
		箱根園(期間限定)	大涌谷	1	1	1	平日・土日祝とも、16時台に1本 3/16-11/15の間運行
		箱根園	ザ・プリンス箱根	2	2	2	平日・土日祝とも、17・19時台に1本
		湖尻		5	5	5	
		箱根町	-	6	6	6	
		関所跡	-	18	18	18	
		箱根園	元箱根、 ザ・プリンス箱根	5	5	5	関所跡方面には行かない
		関所跡	湯の花	1	1	1	平日・土日祝とも、15時台に1本
		北舟	-	2	2	2	平日・土日祝とも、6時台2本ずつ
		船原	-	13	12	12	
		久野車庫	-	13	13	13	
		小田原フラワーガーデン	-	16	15	15	
		小田原フラワーガーデン	中通り・JA久野支店	1	1	1	平日・土日祝とも、10時台に1本
		久野車庫	小田原駅西口	0	1	1	※兔河原循環 土日祝の13時台に1本
富士急湘南バス	小田原駅東口	新松田駅	中堀・西大友	3	6	6	【小11】
		新松田駅	西大友・ 第一生命新大井事業所	8	0	0	【小12】
		新松田駅	中堀・下曽我駅	6	4	4	【小14】
		下曽我駅	中堀	11	9	9	【小15】
		相模容器	-	1	0	0	【小20】 平日の17時台に1本

出典：各社ホームページ（平成26年11月20日現在）



#### (4) 駐車場

■小田原市の駐車場整備地区には、5台以上の駐車場が204箇所存在し、収容台数の合計は4,245台となっています。(一部の機械式駐車場で収容台数不明のものを除く)



※駐車場整備地区は、昭和48年に都市計画決定

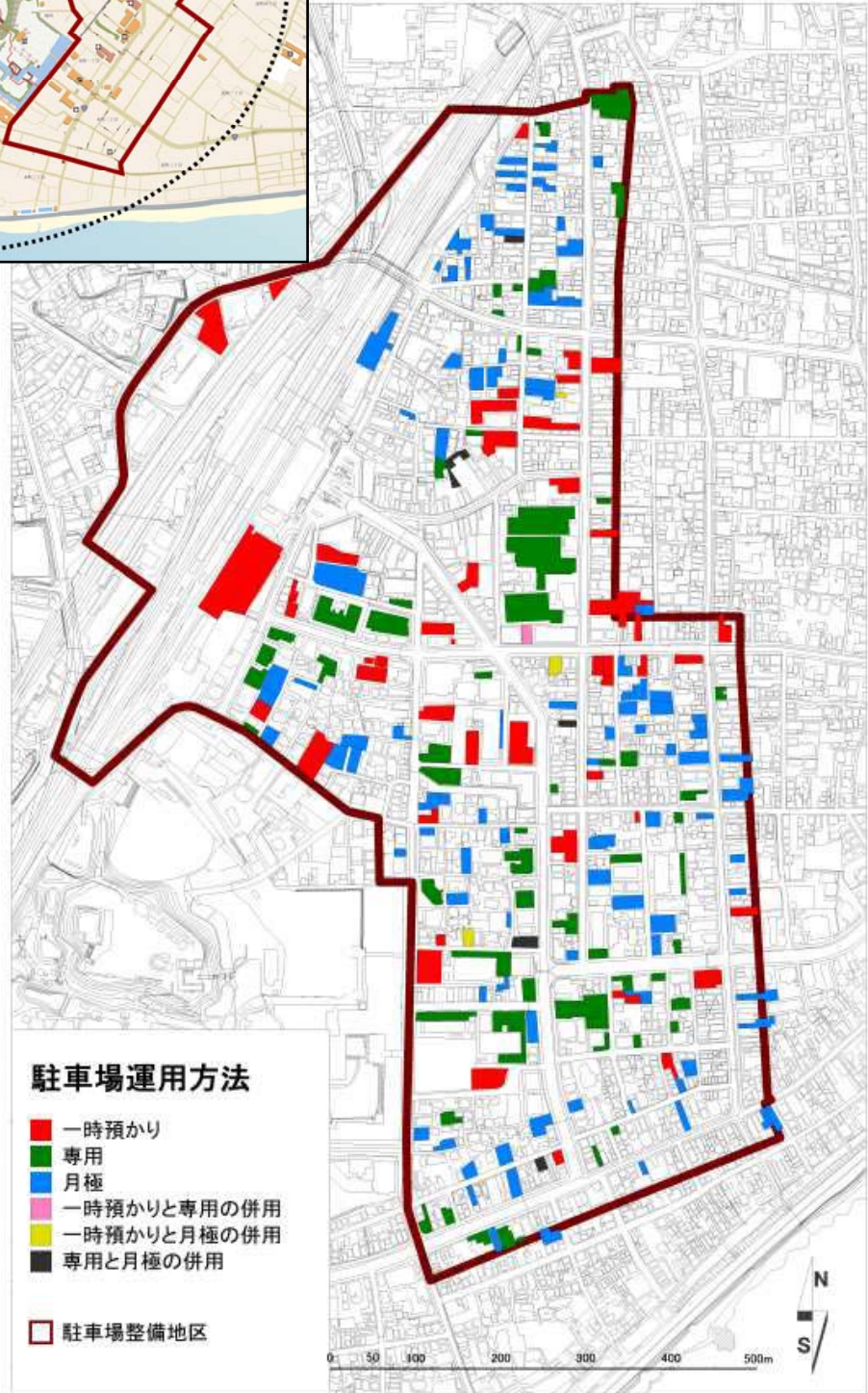


図-21 駐車場の分布



## 2-3 道路状況

### (1) 道路ネットワーク

- 対象範囲には国道1号、国道255号の広域的な幹線道路が通っており、交通量も2万台を超えています。
- 国道1号の小田原市民会館前交差点では、歩行者のための横断施設が歩道橋のみとなっています。



図-22 道路種別及び交通量

資料：平成22年、17年道路交通センサスデータ



図-23 国道1号の様子



図-24 国道255号の様子



## (2) 歩道の整備状況

- 対象範囲内の道路の歩道整備状況をみると、格子状の骨格をなす道路では概ね歩道が設置されていますが、お堀端通りの一部区間や弁財天通りでは、カラー舗装のみ、または片側歩道のみで2m未満と狭くなっています。
- また市道0087及び市道0028は、多くの学生が通学に利用していますが、歩道が整備されておらず危険が生じる可能性が高くなっています。



図-25 歩道整備状況



図-26 お堀端通りの様子



図-27 弁財天通りの様子



### (3) 法規制

- お堀端通りの一部区間、お城通り、錦通り、銀座通り、国際通り等は、一方通行規制がかかっており、交通抑制が図られています。
- 錦通りは平日12時～13時、日・祝日12時～18時に、ダイヤ街では12時～18時に歩行者天国化されており、多くの歩行者が行き交っています。



図-28 歩道の法規制



#### (4) 利用状況

- お堀端通りの一部区間ではカラー舗装のみとなっているため、通り抜けの自動車や自転車などと歩行者との錯綜が生じています。
- 駅東口の弁財天通り、銀座通り、市道0005に囲まれたエリアは自転車等放置禁止区域に指定されているものの、錦通りやお堀端通りなど歩行者の多い路線で、歩道上に違法駐輪や違法駐車、不法占拠看板等が見受けられる箇所があり、歩行空間を阻害しています。



図-29 歩道の利用状況

※違法駐車、違法駐輪、不法占拠看板は現地調査（平成26年6月13日）時点の状況



図-30 歩道上の違法駐輪の様子（錦通り）



図-31 歩行者と自動車の錯綜状況（お堀端通り）



## 2-4 サイン

- 対象範囲内には、地域全体を示す周辺案内サインと、目的地の方向と距離を示す行き先案内サインの2種が設置されています。
- 周辺案内サインは、お城周辺をはじめ、国道1号以南の拠点施設付近の交差点等にも数か所設置されています。
- 行き先案内サインは駅からお城への主要ルートの一つであるお堀端通りには多数設置されています。

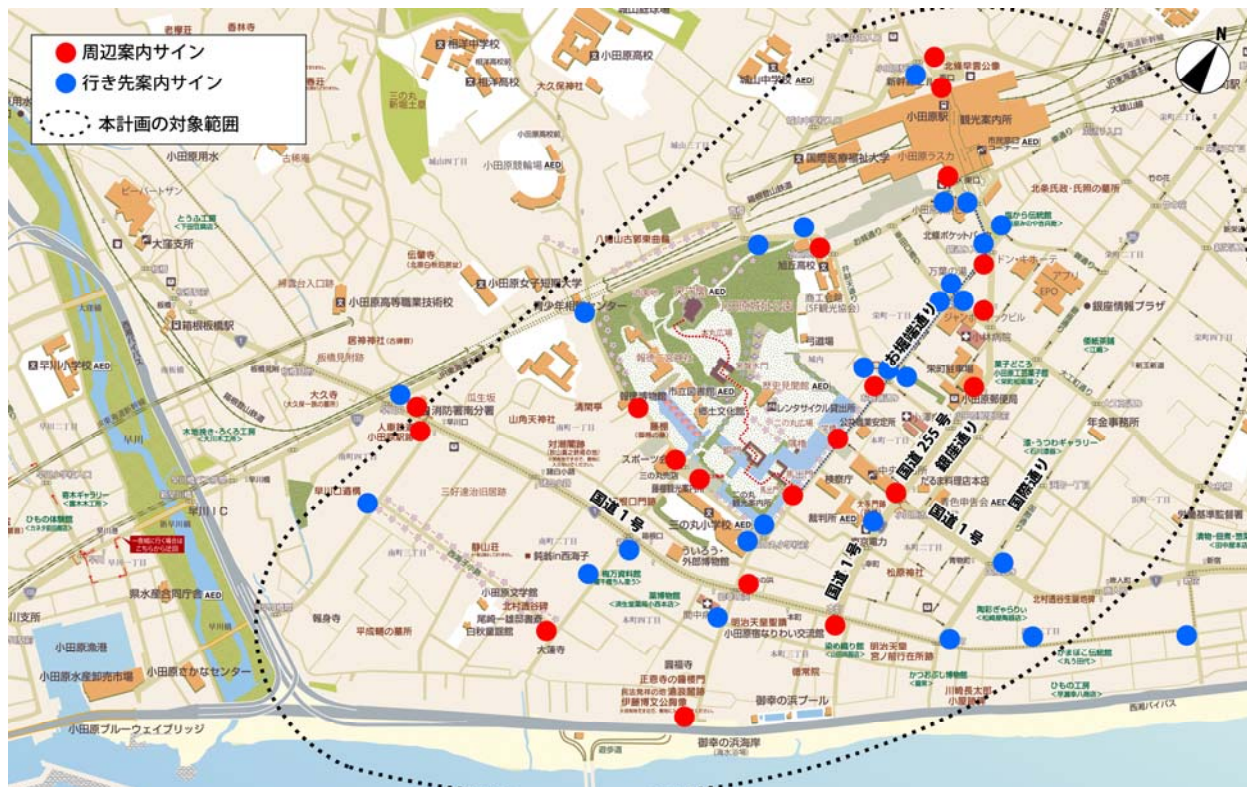


図-32 サインの配置



図-33 設置されている周辺案内サイン



図-34 設置されている行き先案内サイン